

ニカラグア定期報告（2017年12月）

【要旨】

内政面では、アルヘニヤル環境天然資源大臣が辞任、外交面では、11月5日の統一地方選挙に係るOAS選挙監視団の最終報告書がOAS常設理事会に提出、リバス最高選管委員長に対し米マグニツキー法による制裁が適用された。経済面では、2018年国家予算が国会において可決された。

【主な出来事】

1 アルヘニヤル環境天然資源大臣の辞任

11日付官報により、オルテガ大統領が11月30日にアルヘニヤル環境天然資源大臣の辞任を承諾した旨が発表された。

2 モンカダ外務大臣とアルマグロOAS事務総長との会談

(1) 19日、モンカダ外相がワシントンを訪れ、アルマグロOAS事務総長と会談を行った。

(2) アルマグロ事務総長は、同会談につき、自身のツイッターを通じて、OAS事務局とニカラグアの協力に係るガイドライン及び中米地域情勢について建設的な対話がなされた旨を発表した。

3 OAS選挙監視団最終報告書の提出

(1) 20日、OAS常設理事会に、11月5日の統一地方選挙に係るOAS選挙監視団の最終報告書が提出された。

(2) アルマグロ事務総長は、自身のツイッター・アカウントに、「(ニカラグアの選挙システム改革に係る) 第一段階は極めてポジティブな形で終了した。」と投稿した。

(3) ムリージョ副大統領は、「バランスが取れ、誠実で、責任ある報告書が提出された。ニカラグアにとって良き日である。」、「我々は引き続き、ニカラグアの統治機構と民主主義の強化のために取り組む用意がある。」と述べた。

(4) アゲリ民間企業最高審議会(COSEP)会長は、今次報告書について、「ニカラグア政府の、OAS常設理事会及びニカラグア市民に対するコミットメントを明確にするものである。」と評価し、(民間セクターとしても)OASが報告書において提案した選挙システムに関する諸改革に貢献する用意があると述べた。

(5) ワシントンを訪れ選挙不正を訴えてきた野党「自由のための市民たち」CxLのトーレス氏は、OASは、一部の市で不正が行われた可能性を認めた以上、ニカラグア政府に対して、(それらの市における)選挙のやり直しを要求するべきであると述べた。

4 リバス最高選管委員長に対する米マグニツキー法による制裁

(1) 21日、米国政府は、大統領令をもって、汚職及び人権侵害に関わったとする13人に対し、マグニツキー法に基づく制裁を発動した。右13人中、ニカラグア人ではただ1人、リバス最高選管委員長が制裁対象となった。対象者には、米国内に保有する資産の凍結、米国人との取引禁止、ビザ発給の拒否等の制裁措置が適用される。

(2) NGO「民主主義を創ろう」(HD)のガルシア代表は、「リバス委員長ほど重大な汚職で告発されている人物がニカラグアの次なる選挙を率いることは想像し難い。OASは、ニカラグアの選挙システム改革に取り組むと自身の立場と整合的であるためにも、まずリバス委員長の辞任を要求すべきである。」と述べた。

5 対ニカラグア制裁法案(NICA Act)修正案の米上院上程

(1) テッド・クルーズ米上院議員及び民主・共和両党6議員は、22日、新たな内容のNICA Actを上院に上程した。

(2) NICA Actは、下院では既に可決され、4月にクルーズ議員によって上院にも上程されているが、今般上院に上程された修正案は、国務省に対して、ロシアとベネズエラの対ニカラグア協力に関する報告書の提出を求める等、いくつかの変更が加わっている。

6 2018年国家予算の可決

5日、国会は、歳入80,773百万コルドバ(GDPのおよそ17.5%)、歳出87,125.6百万コルドバ(GDPの19%に相当)となる2018年国家予算案を可決した。

<主要経済指標>

	2017年			2016年	2015年
	12月	11月	10月		
インフレ率(前年同月比)	5.7%	5.3%	4.4%	3.1%	3.1%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△412.8	△3,227.6	△3,013.9
輸出FOB(百万ドル)	未発表	未発表	138.5	2,226.4	2,421.7
輸入FOB(百万ドル)	未発表	未発表	551.3	5,453.9	5,435.7
海外送金(百万ドル)	未発表	116.0	118.5	1,264.1	1,193.4
外貨準備高(百万ドル/期末)	2,757.8	2,703.4	2,598.0	2,447.8	2,492.3

(出典：ニカラグア中央銀行)

(了)